

江東区とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設所在地	東京都江東区亀戸2丁目432 ドルミ亀戸101号室
施設名	カメラキッズ亀戸園

1 活動のテーマ

〈テーマ〉

英語であそぼう

〈テーマの設定理由〉

体験を通じた遊びが子どもの主体性や探究心を引き出すことに着目し、無理なく英語に親しめる環境をつくりたいと考えたため。本テーマでは、体を動かす遊びやごっこ遊びと英語を結びつけることで、特別な学習としてではなく生活の中で自然に英語に触れられるようにし、ことばへの興味・関心やコミュニケーションを楽しむ気持ちを育てることをねらいとして設定した。

2 活動スケジュール

令和7年4月～令和8年3月の期間・毎日実施

3 活動のために準備した素材、道具及び環境の構成

・英語の歌や音楽教材・動物や身近な物の絵カード・英語絵本・スピーカー・活動記録用のカメラ、記録用紙

4 探究活動の実践

〈活動の内容〉

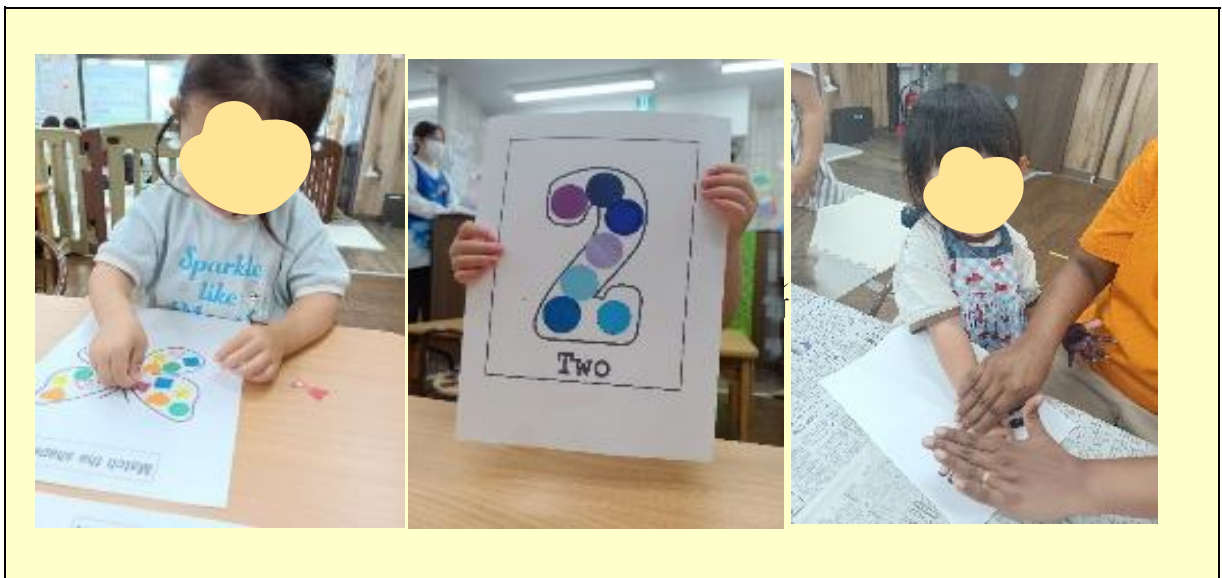
体を動かす遊びやごっこ遊びの中に英語の声かけを取り入れ、遊びの流れの中で自然に英語に触れられるようにした。子どもが保育者の動きや言葉をまねしながら、英語を使ったやりとりを楽しめるようにした。

〈活動中のこどもの姿、声、子ども同士や保育者との関わり〉

「Go」という声かけを合図に、走り出そうとする姿が見られた。言葉の意味を完全に理解しているというよりも、音の響きや雰囲気、保育者の表情や動きと結びつけながら、体を動かす楽しさを感じている様子うかがえる。また、英語講師や保育者の動きをよく見て、まねをしようとする姿も見られ、模倣を通して学ぼうとする姿勢が育っている。

子ども同士では、同じ遊びを共有しながら、友だちの様子を見て笑い合ったり、同じタイミングで体を動かしたりする姿があった。言葉でのやりとりは少なくとも、同じ空間や活動を共にする中で、仲間意識の芽生えが感じられる。

英語講師や保育者との関わりでは、声かけを合図に期待感をもって体を構える姿が見られた。繰り返しのやりとりを通して、「これから楽しいことが始まる」という見通しをもち、安心して活動に参加している様子うかがえる。



5 振り返り

〈振り返りによって得た先生の気づき〉

子どもは体を動かす遊びやごっこ遊びの中で、保育者や友だちの動きをまねしながら自然に英語に反応し、主体的に参加する意欲が高まることに気づいた。また、テーマを設定して英語に触れることで、言葉だけでなくやり取りや雰囲気にも関心が広がり、活動以外の日常場面でも英語に触れる機会が増えていることが分かった。さらに、家庭での様子を保護者と共有する機会も増え、園と家庭の双方で英語に親しむ環境が少しずつ広がっていることに気づいた。

江東区とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設所在地	東京都江東区亀戸2丁目432 ドルミ亀戸101号室
施設名	カメラキッズ亀戸園

1 活動のテーマ

〈テーマ〉

基本動作の充実

〈テーマの設定理由〉

子どもたちが遊びやボール遊びの中で、走る・跳ぶ・投げるといった基本的な動作に意欲的に取り組む姿が見られたことから、その経験をさらに深めたいと考えたため。サーキット活動を取り入れることで、多様な動きを繰り返し経験できる環境を整え、体の動かし方の幅を広げるとともに、運動への自信や主体的に取り組む意欲を育てることをねらいとして本テーマを設定した。

2 活動スケジュール

令和7年4月～令和8年3月の期間・週1回程度実施

3 活動のために準備した素材、道具及び環境の構成

・平均台・マット・プールのスティック・踏み台、段差ブロック・安全確認用マット・記録用カメラ、記録用紙

4 探究活動の実践

〈活動の内容〉

ジャンプや走る、しゃがむ、投げるなどの基本動作を組み合わせたサーキットを実施した。見本や声掛けを加え、子どもが理解しやすい工夫を行った。体を動かす楽しさを重視した。

〈活動中のこどもの姿、声、こども同士や保育者との関わり〉

元気に体を動かしながら、子ども同士で「つぎ、どこ?」「ここ!」と声を掛け合う姿が見られた。指差しや簡単な言葉で思いを伝え合いながら、友だちの動きをまねて進む様子も見られた。また、「じゅんばんね」「どうぞ」といったサーキット講師や保育者の声かけにうなずいたり、順番を待とうとしたりする姿が見られ、少しずつルールを理解しながら関わる様子が育ってきている。難しい場面では、サーキット講師や保育者がそばで支えたり、「いっしょにやってみようか」と関わることで、安心して挑戦する様子も見られ、友だちやサーキット講師、保育者との関わりの中で活動を楽しんでいた。



5 振り返り

〈振り返りによって得た先生の気づき〉

動作の理解には個人差があるため適切に補助を行うことで、子どもたちがより主体的に取り組む姿が増えていることに気づいた。また、友だちとの関わりも活発になり、協力しながら活動する楽しさを感じている様子が見られた。さらに、足元に注意しながら進む場面では、渡りきった際に達成感を味わう姿が見られ、さまざまな仕掛けに対して体全体でバランスを取りながら楽しむ中で、運動経験が広がっていることに気づいた。